

コンサルタントの現場から

㈱ジェムコ日本経営 高橋 功吉

「コンサルタントの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で見聞きしたことの中から、参考になるのではないかと四方山話を綴ったものです。

第234回 定率法と定額法

減価償却には、定率法と定額法があることは誰もが知っている。定額法は毎年同じ金額で減価償却をしていく方法、それに対して定率法は毎年同じ割合で減価償却をしていく方法だ。

例えば、1000万円の設備投資をしたとすれば、耐用年数が5年であれば、定額法であれば減価償却費は毎年200万円ずつだが、定率法であれば、初年度は400万円、翌年が240万円、3年目が144万円、4年目、5年目が108万円になる。もっとも1円は簿価として残す必要があるのだが、細かいことは別にして、定率法の方がはじめに多くの償却費になるということだ。

ちなみに、建物や建物の付帯設備などは定額法しか許されていない。一般的には、機械及び装置、車両及び運搬具などは、定率法が法定償却方法として予め決められているが、届出をすれば、定額法など違う償却方法に変更することはできる。

ところで、先日たまたま、定率法と定額法ではどちらがよいですかという質問を受ける機会があった。税理士に相談したところ、銀行から借入をして設備投資するので、定率法だと投資直後の減価償却費が多くなり、利益が大幅に落ちることになるので、定額法がよいのではないかとされたそうだ。直接お聞きした訳ではないので判断の理由はわからないが、質問者の思いは、銀行から借入しているだけに、投資早々償却負担が増えることで利益が悪化するというのは具合が悪いとの思いがあったようで、この判断でよいかを聞いたかったようだ。

減価償却費の3つの意味

ところで、減価償却費には3つの意味がある。これは、以前、「減価償却費の意味」と題したコラムに書いたが、費用配分、資産価値、資金回収の3つだ。費用配分は、5年間使える1000万円の設備を購入したとして、買った年にすべて費用計上、後の4年はただというはおかしいので、使用期間で費用配分するという考え方。資産価値というのは、貸借対照表の借方に計上する資産価値は時間の経過と共に下がる。毎年、減価償却した分だけ資産価値は下がるということになる。そして重要なのが資金回収だ。減価償却費は費用計上するが、実際にお金は出ていかない。すなわち、その分お金は残るということであり、利益が出ていれば、これで投資した資金の回収ができるということになる。

定率法のメリット

さて、本題の定率法と定額法のどちらがよいかという話したが、どんな経営状況なのかで判断は異なってくる。定率法だと最初の方の期間は減価償却費が多くなる。費用として計上する減価償却費が多ければ、それだけ利益は減る。そうなれば納める税金の額が減り、その分手元により多くのキャッシュが残る。借入をしている場合は、より多く借入金の返済に回すことができ、支払うべき金利をわずかとはいえ少なくできる。すなわち、定率法の方が

【第8面に続く】

<執筆者プロフィール>

高橋 功吉 (たかはし こうき)

㈱ジェムコ日本経営 / 常務理事 グローバル事業担当



大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007年執行役員、2011年取締役、2015年6月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」(日経BP)他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMCI(国際公認経営コンサルティング協会)認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マスターマネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

THE CONTINENT HOTEL BANGKOK

一人 **THB 499** (税込み)

お席は予約制となっております。

ご予約
☎ +662 686 7000
✉ dining@thecontinenthotel.com
📍 Medinil

413 SUKHUMVIT ROAD, BANGKOK 10110
T: +66 2 686 7000 | F: +66 2 686 7007
WHATSAPP: +66 97 215 8803

毎日11:30-14:30
前菜、メインコース・メニュー、極上の味わいのデザートの数々も含め、人気メニューの食べ放題イタリアン・ブッフェ・ランチ。ピザとパスタはオーダーを受けてから調理します。
バンコク週報と愛読者の皆さまには、無料にて赤または白のハウス・ワイン
又はローカル・ビールを1杯お付けいたします。

Compass thecontinenthotel.com

Lyon French Cuisine

フランスの家庭料理を
高級ワインのセレクションと共に。
くつろいだ雰囲気でのシェフの
自慢のメニューをお楽しみ下さい

Opentime
Mon-Sat
Lunch 11:30-14:00
Dinner 18:30-22:00
Sunday
18:30-22:00

ルワムルディー店 ルワムルディー・ソイ3角
Tel: 0-2253-8141 / 0-2650-7852

480円
ランチ

和やかな治療で
もっとすてきな笑顔を...
ポンサク歯科

日本語が話せる医師、ポンサク、カモラバット
(矯正専門)にお任せください。
歯に関するご相談は、
ポンサク歯科 へどうぞ

◆診療時間◆
月～土 9:00～20:00
日 10:00～18:00

●日本矯正歯科学会 (JMA) 認定
●MRC矯正士 (矯正専門) 認定
●日本歯周病学会 (JPA) 認定
●日本歯内科学会 (JPA) 認定
●日本歯槽膿漏学会 (JPA) 認定

上記「ヘルスケアカード」のご提供により、
当院でキャッシュレス決済をお受け頂けます。

Tel. 0-2261-6400-1 スカムビット

46/6 Piman 49 Sukhumvit 49 Rd. North Klongtoei, Wattana, Bangkok 10110

Thai Lion Air
FREEDOM TO FLY

東京(成田)、名古屋、福岡市、大阪市 →
バンコク 11,600円 円～

オールインフェア

Wat Arun Ratchawararam

☎ (+66) 2 529 9999 / lionairthai.com 今すぐ予約

【第7面から続く】

より早く投資回収ができるということだ。但し、この話しが成り立つのは減価償却費が増えてもしっかり利益が出せる場合だ。利益が出せないようであれば、定率法のメリットを享受できない。また、以前大きな赤字を計上し繰越欠損金がある場合は、減価償却費を大きくせずに利益を多くすることにより、繰越欠損金を使い切った方がよいという場合もある。

税理士から定額法のよいのではないかと問われたのは、これら利益の状況並びに利益見通しがどうなるかを踏まえての意見なのではないですかと話をし、それぞれでどうなるかを説明したの

だが、大切なことは、投資を検討するのであれば、それによっていくらの利益が上積みでき、どのくらいで投資回収ができるのかを適切に試算した上で判断することだ。その際には、投資資金にかかる資本コストも織り込んで試算する必要がある。

固定資産は一度投資すると、金利などの資本コストと共に固定資産税がかかり、動いていなくてもお金が出ていく。投資したら固定資産を遊ばせることなく24時間365日稼働させ、しっかりお金を生み出すことだ。いかに早く投資回収をするかが大切であり、生み出したお金を次なる成長に向けての投資原資にしていくことだ。そういう意味では、減価償却は定率法でしたいものだ。

泰日工業大学

第11回 J-Seminar 日系企業勉強会を開催

泰日工業大学 (TNI) は在タイ日系企業や日系機関を対象とする日本語による勉強会を定期的に行っているが、今年最後となる勉強会が11月27日に以下の通り開催される。

記

【主催】 TNI

【後援】 AOTS (海外産業人材育成協会) バンコク事務所、JCC (バンコク日本人商工会議所)、ジェトロバンコク事務所、JTECS (日・タイ経済協力協会)

【日時】 11月27日(水) 13:30-16:30 (受付 13:00)

【場所】 泰日工業大学 (TNI) A棟 601号室

【テーマ・講師・予定時間】 (質疑応答を含む) : (日本語で実施)

【参加費】 1,000 バーツ

【申し込み先ホームページ】 <http://j-seminar.tni.ac.th/>

【定員】 100人

【問い合わせ先】 j-seminar@tni.ac.th 担当: 泰日工業大学 (学長室・広報部) 水谷・児崎 (こさき)

【プログラム (抜粋)】

13:35 ~ 14:35

「タイの中小企業政策と日系企業」

スワンチャイ 中小企業振興庁 (OSMEP) 長官

タイ政府は中所得国のワナ脱出のためタイランド 4.0 と EEC (東部経済回廊) の開発ほか、一連の経済政策を推進している。元京都大学留学生で日系企業での社長もあるスワンチャイ長官が日本語で中小企業・スタートアップ支援や日本企業への期待などを話す。

14:45 ~ 15:15

「TNI 生の採用と評価」

中澤佳文 Murakami Corporation (Thailand) Ltd. 副社長

同社は自動車用バックミラー製造等に関連し工学部のものづくりエンジニアプログラムのワークショップなどで TNI に協力。標題のほか、TNI 卒業生の同社での技術指導と習得、人材育成、TNI への期待などに言及する。

15:15 ~ 15:45

「日系企業で働く TNI 卒業生」

ギッサナー Jast Asia Pacific Co., Ltd. シニア・システム・コンサルタント

TNI 卒業後、日本の大学院勉学と企業で就労経験ある同氏が、「なぜ TNI を選んだのか」「なぜタイの日系企業を選んだのか」「今どんな仕事をしているか」「TNI の経験がどう役立っているか」「タイ人から見た日本 (人) とタイ人とタイ社会の違い」を説明するほか、日本企業への提案も行う。

15:50 ~ 16:30

■ TNI 生によるキャンパス紹介 (主要 研究室・図書室など)

■ TNI 幹部との意見交換・交流会

防災設備の点検は きちんとできて いますか？



- 適切なメンテナンスなき設備は火災時に機能しないことも有。
- 法整備や建物の増床等で現状は基準に満たなくなっているケースも。

火災報知器、消火設備すべて纏めて診断、見積、是正工事
実施いたしますので担当者様の負担減にもなります。

【各機器の交換時期の目安】



きちんとメンテナンスを行わないと耐用年数未満での故障も増加。
また、設置位置の誤りや不適切なセンサーが使用されている場合も
ございます。

警備コストの ムダを見直し しませんか？



- 人による警備をシステムに置き換えることで経費削減。
- システム活用によりヒューマンエラーが起こらないメリット有。

導入コストは、リースにすることにより、実質負担ゼロ
からのご提案も可能となります。

タイ王国でも日本と同様にお客様の「安心・安全」をお届けするのをモットーとしております **ALSOK Thai Security Service Co., Ltd.** がサービスを提供いたします。お客様ごとに確かな経験を活かし、適切な防犯、防災プランをご提案いたします。

ALSOKホームページ
「ALSOK Thai Security Service Co., Ltd.」
<https://www.alsok.co.th/>
「総合警備保障株式会社 (ALSOK)」
<https://www.alsok.co.jp/>



お問合わせ先

Bangkok Shuho International Co., Ltd.

Charn Issara Tower 1st Fl., 942 / 43 Rama 4 Rd., Suriyawongse, Bangrak, Bangkok 10500

Tel: 02-632-9179 Mobile: 063-474-2358

E-mail: info@bangkokshuho.com 担当: 臼井・高井